



交通安全 ほっと ストーリー

交通安全ほっとストーリーとは、みなさんが体験した交通安全に関する「ちょっといい話」や誰かに伝えたい思いなどを募集し、みんなで共有することで、県民の方々全体の交通安全への思いを高めていただくという取組です。

今回は、北陸電力グループ様から頂きましたほっとストーリーを掲載します。

運転で気をつけていきたいこと

夜間は大通りなど状況に合わせて（渡ろうとする歩行者等がないかどうか等の安全が確認できるまで）スピードを落とすなど、安全な速度調整を行ったり、ハイビームにしたりすることを心がけます。



事故にあった歩行者のほとんどが反射材を付けていなかったとの話を聞きました。

春頃に通勤カバン用の反射材を購入したばかりなので、車に分かりやすい位置にくるようカバンの持ち方にも気を付けたいと思いました。



死角（車や歩行者などが見えなくなる範囲）の存在を理解し、前方や（ルームミラーやサイドミラー等による）周囲の確認を確実に行う。



まずは飲酒運転を絶対にしないことに気をつけて、もし近くにそういう人がいたら、注意します。



ちょっといい話

横断歩道の手前で停止してくれている車を見かけますが、私も同じくゆとりをもって、運転します。

ヒヤリハット体験

対向車線が渋滞している片側1車線の道路を走行している時、渋滞車列の間から車両が飛び出し衝突しそうになった。

これまでに寄せられた「交通安全ほっとストーリー」は石川県警察のウェブサイトに掲載してあります！是非御覧ください。

ほっとストーリーをみんなで共有して、**交通安全意識**を高めましょう！

